

施策番号	3420		
施策名	公共事業の再評価		
概要	公共事業の効率化・重点化と実施過程の透明化を図るため、事業着手後一定期間を経過したものを中心に、第三者機関による再評価を行い、必要な見直しを行う。		
担当局	建設局	共管局	なし
上位政策	340 市民とともに政策を評価して市政運営に生かす		

施策の評価

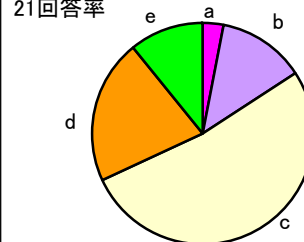
1 客観指標評価

		19年度	20年度	21年度評価				
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	再評価を行った総事業数のうち、完了した総事業数の割合（％）	a	a	25.0	33.0	25.0	132.0%	a
2	（準）情報公開度（建設企画課HPアクセス件数）（件）	d	a	15,318	27,147	16,850	161.1%	a
3	（準）公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数（人）	c	b	11	14	12	116.7%	a
4	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	公共事業の再評価によって事業の点検がしっかりできている。					
回答	19		20		21	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a:そう思う	5	1.2%	11	1.7%	18	3.2%
b:どちらかというと思う	42	9.8%	66	10.3%	72	12.8%
c:どちらとも言えない	198	46.4%	303	47.1%	294	52.1%
d:どちらかというと思わない	100	23.4%	142	22.1%	119	21.1%
e:そう思わない	82	19.2%	121	18.8%	61	10.8%
有効回答数	427		643		564	
市民生活実感評価	d		d		c	

21回答率



- a:そう思う
- b:どちらかというと思う
- c:どちらとも言えない
- d:どちらかというと思わない
- e:そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	19	20	21
客観指標総合評価	b	a	a
市民生活実感評価	d	d	c
総合評価	C	B	B
重み付け	(理由)		
☒ 客観指標 ☐ 市民の実感	公共事業の再評価という対象者が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価、市民生活実感評価、事務事業評価の結果等を踏まえて記入

- ・総合評価は、昨年度と同様のB評価となった。
- ・客観指標総合評価については、昨年度と同様のa評価である。また、市民生活実感評価は、昨年度のd評価からc評価に上がっている。これは、平成20年度の事業について、再評価を基にいくつかの事業を休止決定したことが、理由の一つであると考えられる。
- ・今後とも、市民の生活実感評価を上げるために、公共事業の再評価について、市民の皆様に広くお知らせするよう努めていく。

（参考）この施策を実現するための事務事業

	事業名	20年度予算 (千円)*	21年度予算 (千円)*	20年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
1	公共事業評価	25,061	24,692	現状のまま継続	建設局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		25,061	24,692		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		25,061 (0)	24,692 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	3420	公共事業の再評価				
-----	------	----------	--	--	--	--

指標名	再評価を行った総事業数のうち、完了した総事業数の割合（％）					
-----	-------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	建設企画課	連絡先	2 2 2 - 3 5 5 1		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

事業が長期化し、再評価を行った総事業数のうち、休止、中止も含めて完了した総事業数の割合

2 指標の意味

再評価を実施した事業がどれだけ完了したかを示す指標

3 算出方法・出典等

再評価を実施した事業のうちの完了事業総件数÷再評価開始年度からの評価事業総件数×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	25.0	33.0	8%増	25.0	過去の最高値	132.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

再評価を実施した全ての公共事業のうち、どれだけ割合の事業が必要に応じた見直し等により完了、中止、休止となったかを、過去の最高値をaとし、その他を10%刻みで基準を設定した。
最高値 25%（平成18年度）
最低値 3%（平成11年度）

7 評価結果

19	20	21
a	a	a

指標名	（準）情報公開度（建設企画課HPアクセス件数）（件）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	建設企画課	連絡先	2 2 2 - 3 5 5 1		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

公開した情報がどれだけの人に伝達されたかを表すアウトカム指標として、「HPアクセス件数」の合計

2 指標の意味

公共事業評価の透明度を示す指標

3 算出方法・出典等

事業担当課HPアクセス件数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	15,318	27,147	11,829件増	16,850	前年度の実績を10%上回ることを目標に設定した	161.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：120%以上
b：110%以上120%未満
c：100%以上110%未満
d：90%以上100%未満
e：90%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの上回ることは不可能ではないため、120%以上の達成率をaとして10%刻みで設定した。

7 評価結果

19	20	21
d	a	a

施策名	3420	公共事業の再評価				
指標名	(準) 公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数 (人)					
担当課	建設企画課		連絡先	2 2 2 - 3 5 5 1		
1 指標の説明						
評価の審議課程の透明度をあらわす指標						
2 指標の意味						
公共事業評価の透明度を示す指標			3 算出方法・出典等			
			公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数の年間合計数			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	19年度	20年度		数値	根拠	達成度
数値	11	14	3人増加	12	年間傍聴者数の合計人数12人を目標値とする。	116.7%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	
5 評価基準						
公共事業評価委員会に傍聴にこられた人数			6 基準説明			
a : 1 2 人以上			目標達成には、委員会開催を広く周知する必要がある。			
b : 1 0 人以上 1 2 人未満			平均傍聴者数 8. 8 人			
c : 8 人以上 1 0 人未満			最高値 1 0 人 (平成 1 7 年度)			
d : 6 人以上 8 人未満			最低値 6 人 (平成 1 6 年度)			
e : 6 人未満			8 人 (平成 1 8 年度)			
7 評価結果						
19		20		21		
c		b		a		